

令和8年度 非核都市宣言平和事業実行委員会  
第2回議事録（要旨）（案）

日 時：5月27日（水）午後6時30分～8時30分

会 場：武蔵野市役所 812会議室

出席者：委員 10名（大上委員、山崎委員、牛田委員、松田委員、薦田委員、北山委員、神保委員、猿渡委員、田辺委員、和田委員）

欠席者：中里委員、杉田委員

傍聴者：0名

事務局：4名

1 開会

- ・今回から参加する委員の紹介【資料1】
- ・運営に係るルールについて確認

2 議題

(1) 憲法月間記念行事について【資料2】

- ・事務局より、憲法月間記念行事について説明。

【委員】 書道や絵手紙の募集はどのようにしたか。若い層に多く来てほしかったが、学校等にも周知したのか。

【事務局】 市内の学校等へも周知したが、応募は市内の書道教室やテンミリオンハウスなどの絵手紙教室にご参加された方が多かった。

【委員】 受賞者の若い方が講演会の前に退出されるに至ったことが残念。若い層に関心を持ってもらえる事業を考えるという点については大きな課題だと感じた。

【委員】 シニアしか来ていない点がとても残念。若い層へのPRが課題だと感じた。

映画等は無料で見られるなら、若い層が来やすいと思うが、講演会は知名度が高くないと集客が難しい。

若い層に訴求できる内容に工夫する必要があると感じた。

【事務局】 すそ野を広げるという点からも、工夫の必要があると考えている。

【委員】 企画を提案するにあたって、これまで開催された事業での応募者や来場者の属性を事前に提示していただけたら、検討しやすかった。今後、イベント案の検討に際しては、情報提供をお願いしたい。

【事務局】 事前に示せず申し訳なかった。今後は属性がわかるよう資料をお示ししたい。

【委員】 若い人に参加してほしいという点は共通認識だと思う。その点についても検討する時間が必要。平和に関する事業は節目の時だけ行うものではないという市長の意見に賛成。その点も検討する時間が必要。

【委員】 初参加の方が多かった点は評価できる。ここ数年若年層を取り込

めてきていたので参加者の年齢層が高かったことは残念だった。内容を検討する際には、ターゲットを明確にすることが重要だと思う。お金を使うからには多くの方に来ていただきたいが、参加者が少なくても新たな層を掘り起こせていれば、評価できると思う。

(2) 夏季平和事業について【資料3-1、資料3-2】

- ・事務局より、夏季平和事業について説明。
- ・委員より提案いただいたイベント案について補足説明。

【委員】 久保田弘信氏：現在、日本で唯一戦地に行っているカメラマン。「なぜ戦争が起きているか」や「戦時下におけるリアルな生活について」などをお話しただけ。

田島氏：94歳の姉が被爆体験者で、本人（弟）も戦争体験者。話す機会があれば話したいという思いをお持ちなので、ぜひお話をきいていただきたい。

【委員】 予算が許す範囲で、様々な年齢層、多様な感覚・感性を持つ人をターゲットとした企画を複数、組み合わせた構成にしたいと考えた。

たかのてるこ氏：たかのさんの体験を通して世界の人々を知り、参加者が身近なところから、やがては世界中で友だちの輪を広げることで世界平和につながられたら、という思いで提案した。多くの人に肩の力を抜いて参加してもらえと思う。

「はだしのゲンはまだ怒っている」：バリアフリー上映に対応しているため、ハンディキャップのある方にもお届けすることができる。

【事務局】 提案いただいたイベント案について、各委員からご意見をいただき、最終的には市として決定する。

【委員】 様々な講師を呼ぶことは有益だと思うが、集客が難しいのではないか。著名な映画の上映が良い。ただし、単に映画を無料で見られただけで終わらないよう、主催者側の意図を伝える等の工夫は必要。

「風立ちぬ」を推薦したい。武蔵野市の中島飛行機武蔵製作所にもつながるし、娯乐的にもよいのではないか。昨年のように上映直前の金曜ロードショーで放映されて当日欠席が増えるといったリスクも少ないのではないか。「木の上の軍隊」は昨年のように直前に放送されるのではないかと考えている。

【事務局】 スタジオジブリ作品は著作権上、上映ができない。

【委員】 昨年の案で採用されなかったデジタルスタンプラリーは、その後検討が進んでいるのか。

【事務局】 具体的な検討は進んでいない。

【委員】 デジタルスタンプラリーとは何か。

【事務局】 ハンコを押すスタンプラリーの電子版で、スマートフォン等でスタンプを集めるもの。

- 【 委 員 】 スポットをまわって、クイズに正解するとスタンプがたまるといった仕組みもある。
- 【 事 務 局 】 夏季平和事業は暑い時期であり、参加者の健康リスクがあるため、平和の日がある 11 月が適しているのではないかと考えている。費用面の確認やスポットの検討等が必要。
- 【 委 員 】 デジタルスタンプラリーの誘導に関わったことがある。参加者は最後にもらえる景品を楽しみに積極的に参加していた。アプリの不具合等でスタンプが押せない場合を想定した人員の配置など、参加者が困った時の対応についての検討が必要。
- 【 事 務 局 】 他市の事例もあるので調査する。
- 【 委 員 】 本日、この場でどこまで決めるのかを確認したい。
- 【 事 務 局 】 どのような意見が多かったかというところを確認したい。
- 【 委 員 】 講演について複数提案した。事前に提案していないが、ノーベル平和賞を受賞している被団協（日本原水爆被害者団体協議会）による講演はいかがか。
- 【 委 員 】 各々、思い入れがある提案をしている。3つか4つ採用しないと消化できないのではないか。
- 【 委 員 】 予算の上限もあると思うので、2日が限界ではないのか。お盆の時期は市内の人が減るうえ、暑い中の外出となる。いずれの案も個人的には観たい映画や、聴きたい講演だが、今回は子どもが楽しめる映画がいいのでは。
- 【 委 員 】 例年、子ども向けと大人向けの内容に分けて2日間実施していたかと思う。今年はそうではないのか。
- 【 事 務 局 】 明確な分けはない。予算上、2回分が上限となる。
- 【 委 員 】 今回の案を11月の平和の日イベントで行うこともできるのか。
- 【 事 務 局 】 結果的に夏季平和事業で実施しなかったものを、平和の日イベントの候補にするということは可能。
- 【 委 員 】 1日のうち企画を午前と午後で2本立てとして、入れ替え制にするという方法は可能か。
- 【 事 務 局 】 予算の面で、1日2枠を2日間で4枠実施するのは難しい。運営という点では、来場者の入れ替えと講師対応の両方を行うことを考えると、講演を1日2本は難しい。映画であれば不可能ではない。
- 【 委 員 】 作品によるが、コミセンで3枠入替をした実績はある。その作品は来場者が100名までであれば1日に何回上映しても値段が同じであった。
- 【 委 員 】 会場の定員を知りたい。
- 【 委 員 】 フォーラムで150名まで入れたことがある。
- 【 委 員 】 現状では子ども向けの作品が出ていないように思う。この場で子ども向けのものを提案しても良いか。
- 【 事 務 局 】 問題ない。
- 【 委 員 】 昨年のような朗読会の場合、有名な声優さんと呼ぶなど、子どもだけでなく、大人もひきこまれるようなしかけがあるといいので

- はないか。
- 【 委 員 】 ゾウのはな子のドラマ「千の風になって」と、ドラえもんのなかで3匹の象を題材にした「ゾウとおじさん」を提案したい。
- 【 委 員 】 短編を、何本かやるというのはどうか。手塚治虫の「ある街角のものがたり」を提案したい。
- 【 事 務 局 】 子どもにも来てもらうための企画にしたいということでよいか。
- 【 委 員 】 アニメの短編映像を複数上映することに賛成。併せて、けやき会の木岡さんの体験を聞きたい。体験談はインパクトがあるので上映と合わせて体験者の講演を聞くのはいかがか。
- 【 委 員 】 これまで、絵本の朗読会など、子ども向けに企画したイベントに子どもだけの参加はどれくらいあったのか。
- 【 事 務 局 】 子どもだけの参加について統計はとっていないが、この2～3年は子どものみの来場は記憶にない。
- 【 委 員 】 武蔵野市では、お盆の時期には親子連れは減るか。
- 【 事 務 局 】 感覚的には人が減る。
- 【 委 員 】 別の事業だが、子どもの参加は夏休みの間は減る印象がある。
- 【 委 員 】 ジュニア合唱団や桜キッズのように、子どもが出演したイベントについては、その友達が観に来るなどして、子どもの参加が多くなる。
- 【 委 員 】 子どもといっても幅広い。小学校低学年も含むのか、中学生以上なのか。合唱という案は良いと感じた。
- 【 事 務 局 】 中高生にも来てほしいが来場までつなげることが難しい。平和について考えてもらうきっかけと考えると、小学生の親子連れが主なイメージになる。
- 【 委 員 】 短編を含めた映画など、委員から案を出したうえで、事務局でまとめて今回の中から決定するということがよいのではないか。
- 【 事 務 局 】 いただいたご意見をふまえて事務局で近日中にまとめて皆様にお示しする。
- 【 委 員 】 改めて、子ども向け映画の案を提出して良いのか。
- 【 事 務 局 】 5月31日（日）までにメールで新たなご提案をいただきたい。対応が可能か確認して検討する。
- 【 委 員 】 イベントの申込方法はどうかやっているのか。
- 【 事 務 局 】 市報や市ホームページに掲載して、Webフォームや電話、窓口での直接受付としている。代表者の名前で人数を申し込んでもらっており、定員を超えた場合、市民を優先したうえで抽選を行っている。
- 【 委 員 】 短編映像の場合、参加者は都度入替えるのか、入替せずまとめて上映するのか。
- 【 事 務 局 】 短編映像の複数上映の場合、作品ごとの入替は難しい。
- 【 委 員 】 お盆の時期ということもあり、個人的には8月15日（土）は避けた方がよいのではないかと思います。

委員の皆様からのご意見及び追加の提案を踏まえて、市として決定する旨、事務局より

説明。

(3) 平和の日イベントについて【資料4】

・事務局より、平和の日イベントについて説明。内容の案は6月8日(月)までに事務局へ提案していただくよう説明。

【委員】 上映と講演の両方は可能か。

【事務局】 組み合わせることは可能だが、予算や時間の制約がある。組み合わせ次第となる。

【委員】 イベントの事業予算は何を見ればわかるか。

【事務局】 資料4のこれまでのイベント内容の中に記載している。令和5年や7年程度と考えてもらいたい。

【委員】 これまでの来場者の属性を知りたい。

【事務局】 令和7年度は、60・70代がやや多かったが、中高生の長崎派遣の報告もあったためか、比較的ならされている。6年度と5年度は、70代と60代が多かった。改めて資料としてまとめたものを提供する。

【委員】 安田さんのような若い方の講演でも、例年の講演と参加者の属性が変わらず、思ったより年代が高めなことが少し意外だった。毎年参加してくださる方が多いのか。

【事務局】 平和の日のイベントの参加が初めてか、というのはアンケートで聞いてない。

【委員】 今後、参加者を若い人たちに広げていくために、イベントのアンケートの際に、年齢のところで「10代」まで細かく分けて集計してほしい。

【委員】 イベントへの参加の流れでパネル展に来場する方も多い。久保田さんは平和の日が良いのではないか。

【委員】 今年度は青少年平和交流派遣がないのか。

【事務局】 今年度は実施しない。

【委員】 申込者の多くが市報を見て参加しているが、今の若い層は市報の存在すら知らない。広報の仕方を工夫した方がいいと思う。

【事務局】 期日までにイベントの案をいただき、次回の委員会で協議する。  
⇒(提出の締切は6月8日(月)まで)

(4) 研修会について【資料5】

・事務局より、研修会について説明。

・研修会の内容について、6月8日(月)までに事務局まで提案いただくよう依頼。その案をもとに次回以降検討する。

(5) その他

・第3回：6月26日(金)午後6時30分～プレイスペースC。

3 閉会